

令和7年度 岩手県 ケアプランデータ連携システム 活用促進モデル地域づくり事業

成果報告会

株式会社TRAPE

株式会社TRAPE（トラピ）のご紹介

生産性向上くん®



介護現場の生産性向上の取組
成功させる鍵となる

準備8割 チーム作り
課題の見える化

をサポートするために生まれました



生産性向上ガイドラインに準拠

現場のリアルな「今」を把握するための
「アンケート」や「タイムスタディ」を何度でも実施できます

利用料ずっと **0円**



「生産性向上ガイドライン」の理解を深め
現場で実践するための“補助テキスト”

素敵な役割のあふれる日常を創る
Well-being



伴走支援

会社所在地：大阪（新大阪駅 徒歩8分）
特徴：全国各地にメンバーが在籍し、
フルリモートで柔軟に働いています



事業所の生産性向上・人材育成・経営改善

- ・現場の働きがい向上のための6ヶ月実践プログラム
- ・経験学習によりミドルリーダーがマネジメントを習得
- ・自分たちで課題が解決できる現場自律力をつける

フルオンラインで「伴走支援」を行い、数多くの事業所が成果を生み出しています

since2020



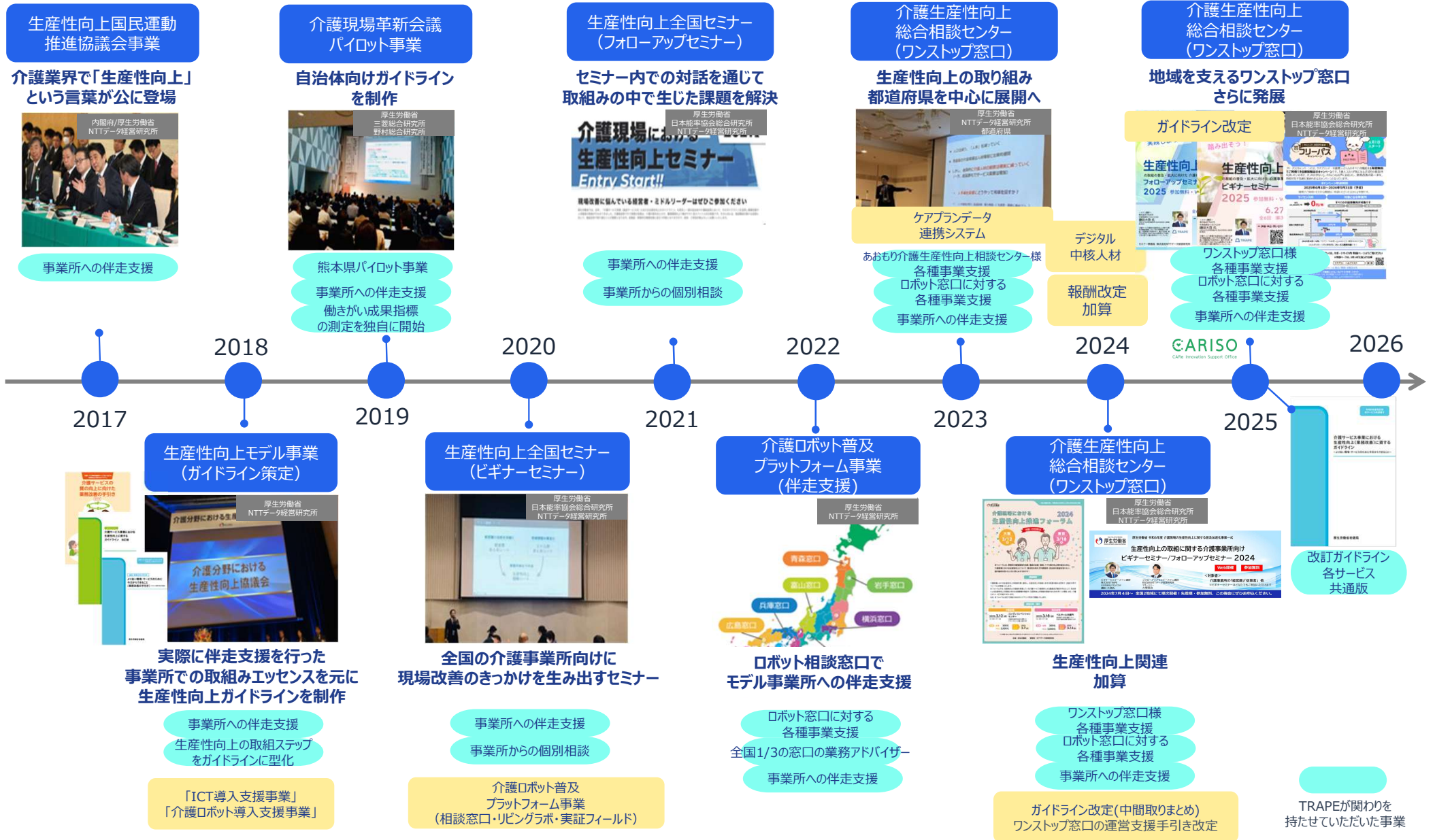
都道府県・市町村事業

企画-実行-成果創出まで一貫通貫の事業パートナー

- ・モデル事業を通じた政策支援、エビデンス創出
- ・生産性向上の推進、介護DX推進、地域内横展開
- ・介護予防推進、成果創出に向けた政策見直し支援



TRAPEが関わった介護における生産性向上施策の変遷と展開



実績紹介（厚生労働省のケアプランデータ連携システムセミナー講師）

2023年

2024年

2025年

2026年

ケアプラン データ連携システム

きついま、日本にいちばん必要なDX。

地方公共団体による『ケアプランデータ連携システム』活用セミナー

地域でのデータ連携による負担軽減に向けて
～いま自治体の皆さまに考えてほしいこと～

日時：2023年12月6日(水) 13:30～15:30
会場：Zoom (YouTube Live併用) によるオンライン開催
対象：地方公共団体/国民健康保険団体連合会
定員：2,000名 (1団体あたり1アカウントでのお申し込み)

プログラム

- 地方公共団体による介護生産性向上の支援について
～自治体の皆様に向けた「ケアプランデータ連携を中心に」～
厚生労働省 老健局高齢者支援課 室長補佐 秋山 仁 氏
- パネルディスカッション
テーマ：『ケアプランデータ連携システムを普及させるポイント』
モデレーター 株式会社TRAPE 代表取締役 鎌田 大啓 氏
パネリスト 長崎県、静岡県、鳥取県国民健康保険団体連合会、
県トライクアマネジメント(東京都健康増進局)、
厚生労働省 介護課(介護保険課)、NPO ソフトウェア (介護ソフトウェア)
厚生労働省 介護課、(社)国民健康保険中央会
- ケアプランデータ連携システムの周知広報について
～国民健康保険中央会からのコンテンツご紹介と普及拡大のお願い～

参加申込方法
以下のURLにアクセスいただき、お申し込みください。
<https://x.gd/R225t>
※ 2023年12月1日(金) 15:00迄の申し込みとなります。
※ 申し込み完了後、お申し込みいただいた自治体へ、ZoomのURLとIDをお知らせいたします。
※ ZoomのURLとIDをお知らせいたします。ZoomのURLとIDをお知らせいたします。
※ ZoomのURLとIDをお知らせいたします。ZoomのURLとIDをお知らせいたします。

主催：国民健康保険中央会 協力：厚生労働省

ケアプラン データ連携システム

きついま、日本にいちばん必要なDX。

介護現場が変わる！
『地域が取り組むケアプランデータ連携のいま』

日時：2024年12月4日(水) 13:30～15:00
会場：Zoom (YouTube Live併用) によるオンライン開催
対象：地方公共団体/国民健康保険団体連合会
定員：1,000名 (1団体あたり1アカウントでのお申し込み)

プログラム

- 介護現場における生産性向上について
～自治体の皆様に向けた「ケアプランデータ連携を中心に」～
厚生労働省 老健局高齢者支援課 室長補佐 秋山 仁 氏
- TRAPEの鎌田氏と聞く！新たな普及施策と事業者の声
事業所にとって、自治体への存在は導入を決める大きなポイント。
普及施策の例、利用者の声から、今できることのヒントをみつけましょう！
司会 株式会社TRAPE 代表取締役 鎌田 大啓 氏
登壇者 【地方公共団体・関連団体】
兵庫県/廣瀬市/米子市・鳥取県国民健康保険中央会/
日本介護支援専門員協会
【介護事業所】
つくく手ケアマネセンター
- ケアプランデータ連携システムの最新情報
国民健康保険中央会

参加申込方法
以下のURLにアクセスいただき、お申し込みください。
<https://x.gd/R225t>
※ 2024年11月25日(火) 15:00迄の申し込みとなります。
※ 申し込み完了後、お申し込みいただいた自治体へ、ZoomのURLとIDをお知らせいたします。

ケアプランデータ連携システム フリーパスキャンペーン オンライン説明会

参加費無料 事前登録不要 だれでも参加OK

日時：2025年3月14日(金) 13:30～15:00
実施方法：YouTubeライブ (事前申込不要)
対象：全ての介護事業所様・介護関連団体様・自治体・国保連

プログラム

- R7年度におけるケアプランデータ連携システムについて
～ケアプランデータ連携システムの更なる活用に向けた施策～
厚生労働省 老健局高齢者支援課 室長補佐 秋山 仁 氏
- ケアプランデータ連携システムとフリーパスキャンペーンについて
国民健康保険中央会 泉 明男 氏
- 事業所様・専門家からのお声
居宅介護支援事業所 株式会社トライクアマネジメント 代表 長谷川 徹 氏
株式会社TRAPE 代表取締役 鎌田 大啓 氏

ケアプランデータ連携システム 全国自治体向けオンラインセミナー 介護情報基盤開始を見据えた ケアプランデータ連携システムの導入促進

参加申込不要 YouTubeライブ開催

日時：2026年1月14日(水) 13:30～15:15 (予定)
開催方法：YouTubeライブ (事前申込不要)
対象：地方公共団体・国民健康保険団体連合会
(職能団体・介護事業所の皆さまも視聴可能)

プログラム

- 介護情報基盤について
厚生労働省 老健局老人保健課 課長補佐 野口 千彰 氏
- ケアプランデータ連携システムの利用促進 (仮)
厚生労働省 老健局高齢者支援課
介護業務効率化・生産性向上推進室 推進官 長谷田 麗子 氏
- ケアプランデータ連携システムについて
国民健康保険中央会 保健福祉部 介護保険課 主任 泉 明男 氏
- 先進自治体の普及促進事例について
モデレーター：株式会社TRAPE 鎌田 大啓 氏
講演自治体：神奈川県藤沢市 / 大分県 / 千葉県

視聴方法
以下のURLにアクセスいただき、ご視聴ください。
視聴に際して、申込・登録は不要です。
<https://www.youtube.com/live/IaM6JXWRWx0>
YouTubeチャンネルから
お申し込みください。
国民健康保険中央会 協力：厚生労働省

弊社代表鎌田が3年連続で厚生労働省主催の
ケアプランデータ連携システム普及セミナーの講師・登壇

【2023年12月6日開催】
『ケアプランデータ連携システムを普及させるポイント』
(モデレーター：株式会社TRAPE 鎌田大啓)
<https://youtu.be/HSjxEQKTxyI?si=0LNQJ5sb99oigAkt>

【2024年12月4日開催】
自治体や介護事業所の施策事例を紹介
第2部：TRAPEの鎌田氏と聞く！新たな普及施策
と事業者の声
<https://youtu.be/bMWKwkF5SFY?si=zm4w7UIw-5cLKc4R>

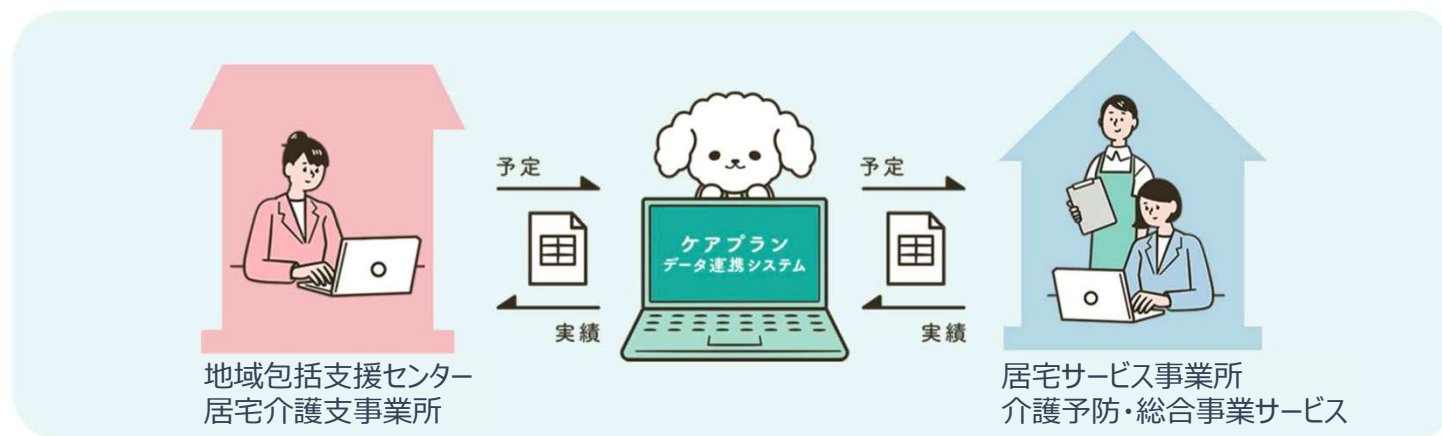
【2025年3月14日開催】
第3部：TRAPE鎌田「ケアプランデータ連携システム
を地域で展開する際の考え方とポイント」
<https://www.youtube.com/watch?v=D-oOSOJcePM&t=59s>

実績紹介 (雑誌への寄稿文)

ケアプランデータ連携システムとは

情報共有を安心・安全にオンラインで行うシステム

地域包括支援センター、居宅介護支援事業所
居宅サービス事業所、介護予防・総合事業サービス（従前・A型）との
情報共有（ケアプラン・各種書類）のやりとりをオンラインで完結できる仕組み



Copyright© 公益社団法人 国民健康保険中央会

この仕組みには大きな特徴があります

地域包括支援センター・居宅介護支援事業所」と「居宅サービス事業所・介護予防・総合事業サービス）の
双方で活用しなければ、**残念ながら効果は限定的になってしまうのです…**

「みんなで声を掛け合い、みんなで活用する」ことで、**みんなにとって大きなメリットが生まれるのです！**

ケアプランデータ連携システムでやりとりできる書類



「CSVファイル」

ケアプランデータ連携システムを利用することで、直接介護ソフトに取り込むことができます
事業所番号などの入力も不要です

【要介護】

- 居宅サービス計画書（第1表～第3表）
- 提供票※予定（第6、7表）
- 提供票※実績（第6、7表）

【要支援】

- 介護予防サービス・支援計画書
- 利用者基本情報（予防様式）
- 家族情報の画像（ジェノグラム）



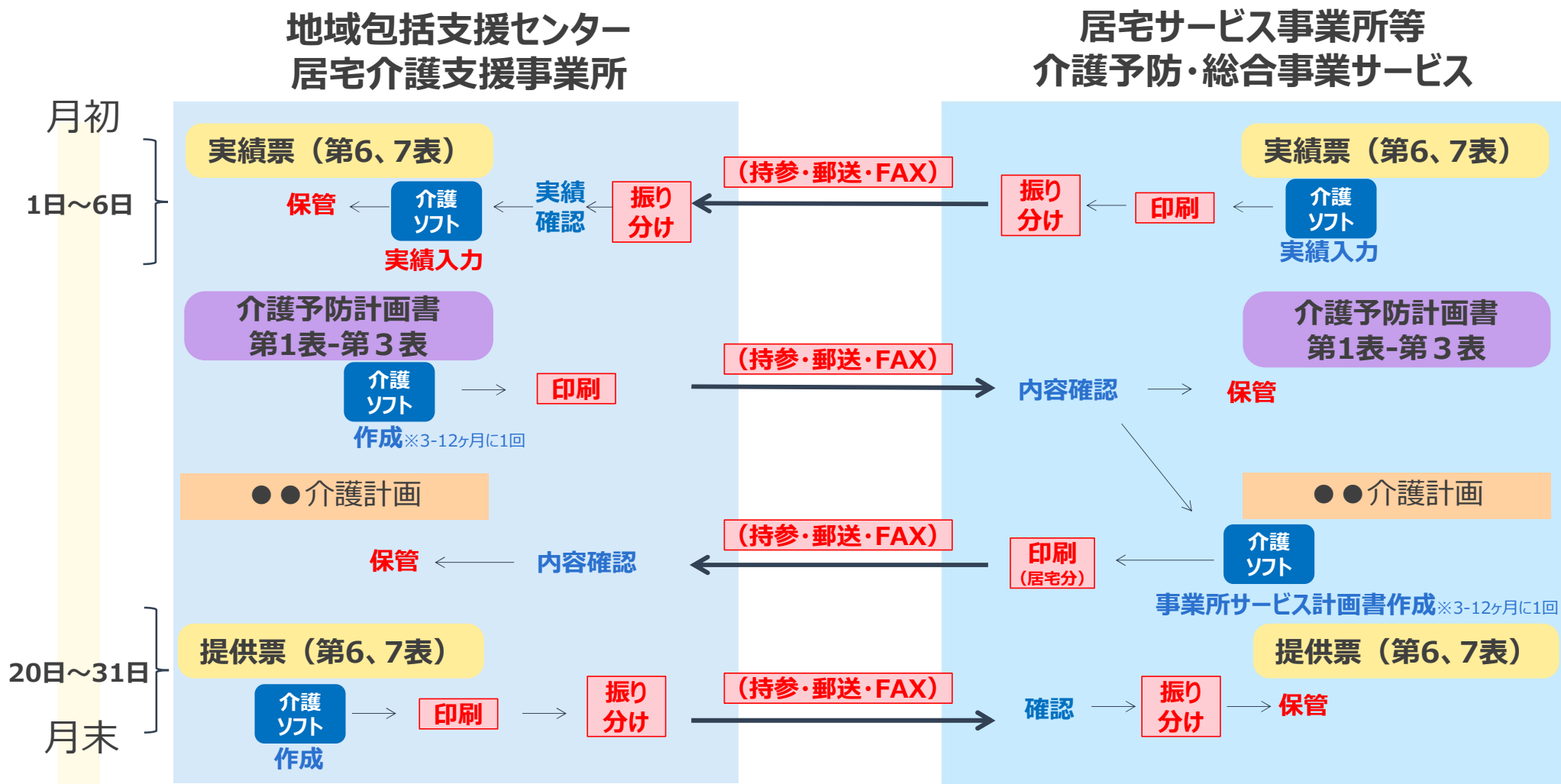
「添付ファイル」

安心・安全にPDF、写真など (jpeg,jpg,png,gif)、テキスト (txt) を送受信できます

- ・データの保管は、ファイルとしての保管または紙での保管になります
- ・基本的には介護ソフトへの取り込みはできません
- ・Word,Excel,PowerPointの送受信はできません

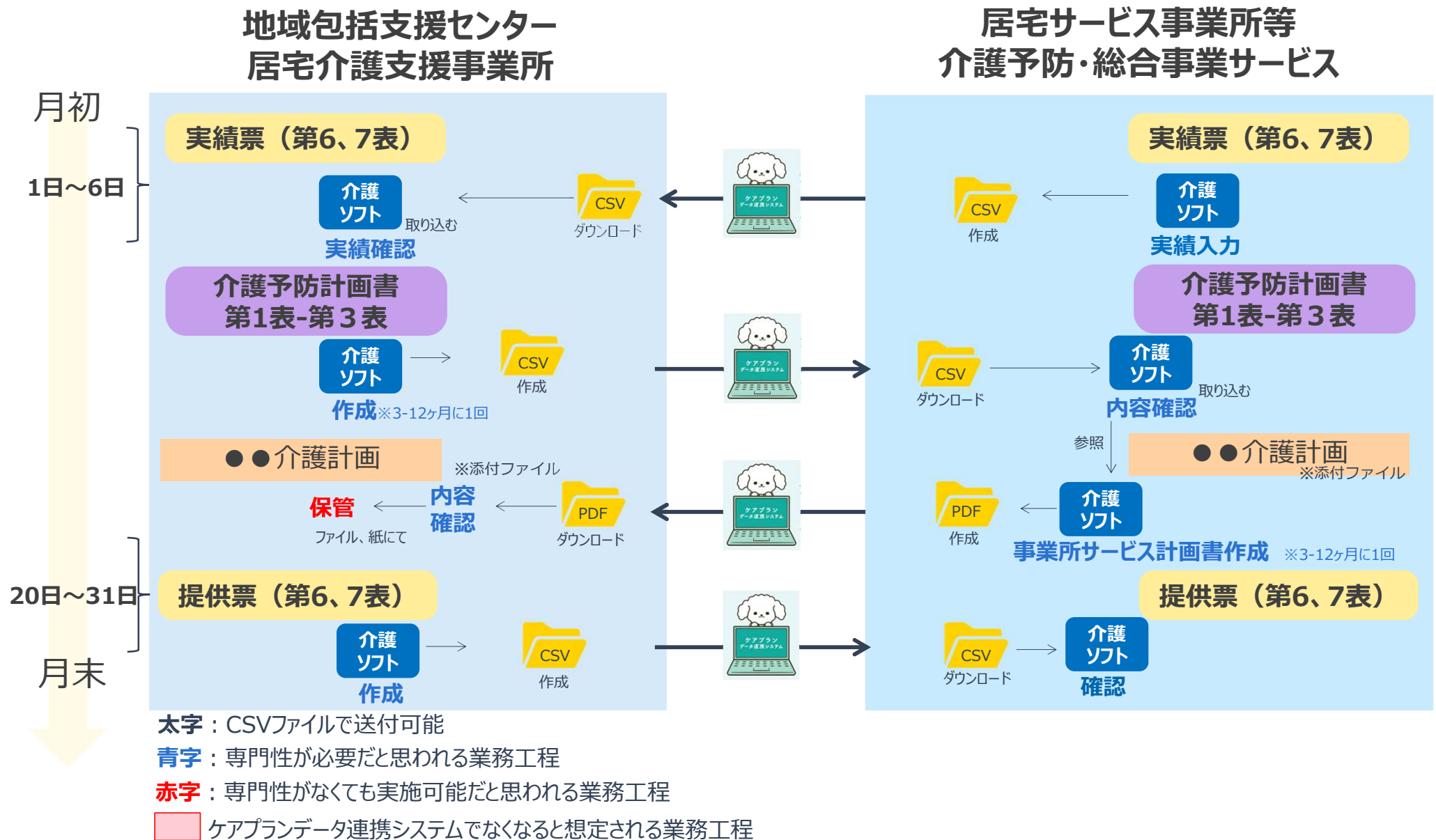
- 介護保険証、負担割合証、負担限度額認定証などの証書の写し
- サービス担当者会議録、サービス事業所の個別サービス計画書、機能訓練計画書、評価表、利用状況報告書などの利用者に関する書類
- 皮膚状況や家屋状況、その他写真
- その他、事業所へ周知したい情報（詐欺被害や介護予防に関する情報）、空き状況や広報紙等

【導入前】の提供票等の共有方法

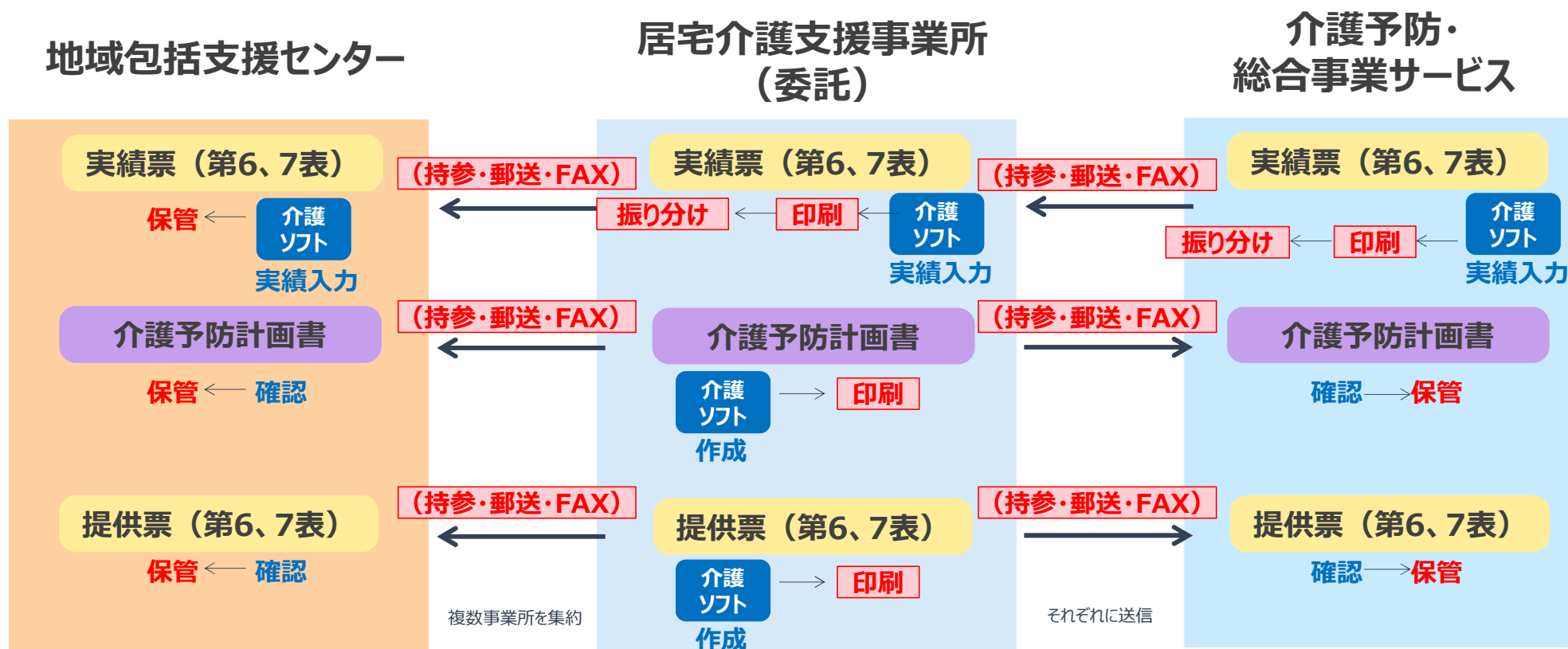


- 太字 : CSVファイルで送付可能
- 青字 : 専門性が必要だと思われる業務工程
- 赤字 : 専門性がなくても実施可能だと思われる業務工程
- (赤枠) : ケアプランデータ連携システムでなくなると想定される業務工程

【導入後】提供票等の共有方法



【導入前】包括と委託との連携



その都度共有が必要な書類

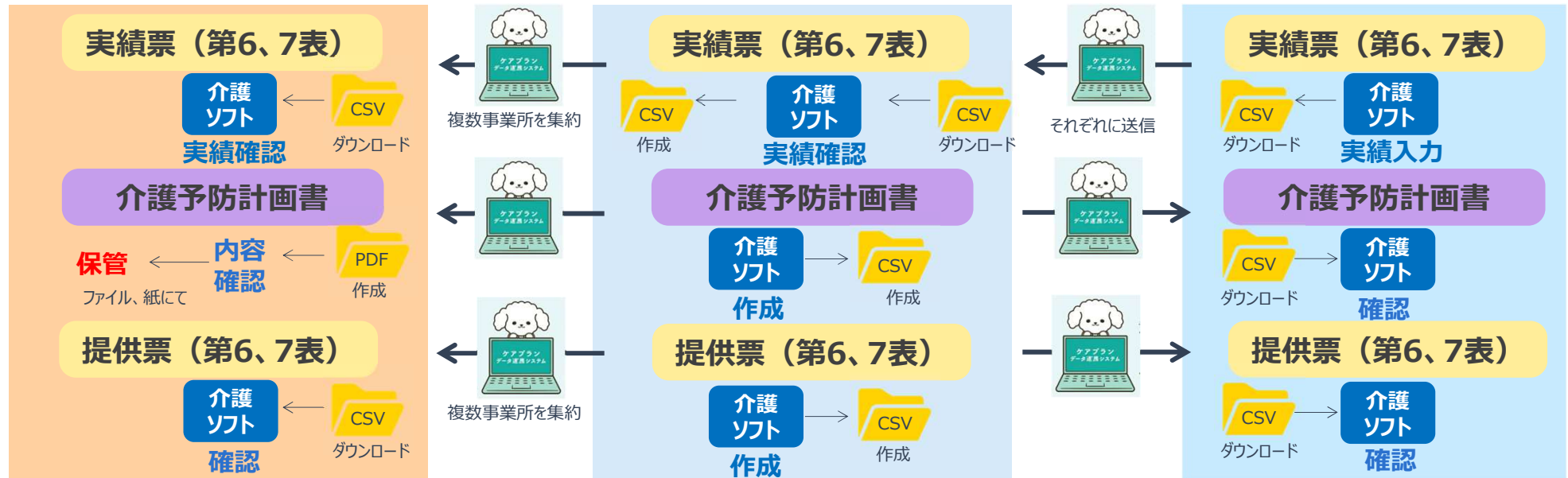
- 請求書や集計表など給付管理に付随する書類 (実績持参時)
- 評価表や支援経過記録など (プラン更新時)
- 介護保険証や負担割合証など証書
- 住宅改修 (申請書や理由書) 等の確認 など

【導入後】包括と委託との連携

地域包括支援センター

居宅介護支援事業所 (委託)

介護予防・ 総合事業サービス



※ケアプランデータ連携システムに対応していない
介護予防・総合事業サービス分は従来の運用

PDFで対応可能なデータ

- 請求書や集計表など給付管理に付随する書類（実績持参時）
- 評価表や支援経過記録など（プラン更新時）
- 介護保険証や負担割合証など証書
- 住宅改修（申請書や理由書）等の確認 など

ケアプランデータ連携システムを導入するメリット

ケアプランデータ連携システムを利用することで生まれる効果

現場の職員



- 情報共有が円滑になる
- 事業所間の連携が強化される
- 現場に余力が生まれる
- より専門的な業務に専念できる
- コスト削減ができる

利用者



- 質の高いケアを安心して受けられる
- 利用者の満足度が高まる
- 重度化予防と自立支援を通じて、その人らしい生き方（自己実現）へ

自治体・国



- 自立支援や重度化防止の取組みを後押しし、より良い地域づくりにつなげられる
- 地域の状況を把握し、それに合わせた介護保険事業の運営に活かせる

経営者のメリット

経営者

- **コスト削減**
 - ・ 事務費等の削減、職員の手間の削減/効率化、間接業務の時間削減、残業時間削減など
- **職員の働きやすさ、働きがいの向上**（余力が生まれること、余力を活用することによって）
 - ・ 職員の心理的負担軽減、ワークエンゲージメントの向上（専門職としての活力向上）
- **人材の定着・確保**（職員の働きがいの高い職場は、人材の定着・採用に有利になることがわかってきている）
- **利用者/家族へのサービス品質の向上**（余力を活用することによって）
例)
 - ・ 職員が活力を持つことで、利用者/家族が自分らしい暮らし(生活)をおくることを強力に後押しする
- **経営の土台である「いい現場づくり」を生み出せる**
 - ・ 職員の処遇改善や介護テクノロジー導入補助など

情報提供 - ケアプー導入で処遇改善5,000円UP!

【〇介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善に対する支援】

老健局老人保健課
(内線3942)

施策名:ア 介護分野における物価上昇・賃上げ等に対する支援
(介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業)

令和7年度補正予算案 1,920億円

※医療・介護等支援パッケージ

① 施策の目的

- 〇介護分野の職員の処遇改善については、累次の取組を講じてきた結果、介護職員の賃金は改善してきたものの、他産業とはまだ差がある状況。
- 〇介護分野の人材不足が厳しい状況にあるため、他職種と遜色のない処遇改善に向けて、令和8年度介護報酬改定において、必要な対応を行うこととし、報酬改定の時期を待たず、人材流出を防ぐための緊急的対応として、賃上げ・職場環境改善の支援を行う。支援については、持続的な賃上げを実現する観点を踏まえて実施する。

② 対策の柱との関係

I			II					III	
1	2	3	1	2	3	4	5	1	2
	○	○							

③ 施策の概要

- ①介護従事者に対して幅広く賃上げ支援(※1)を実施。
 - ②生産性向上や協働化に取り組む事業者(※2)の介護職員に対して賃上げ支援を上乗せ。
 - ③併せて、介護職員について、職場環境改善に取り組む事業者(※3)を支援(介護職員等の人件費に充てることも可能)。
- (※1) 処遇改善加算の対象サービスについては加算取得事業者、対象外サービス(訪問看護、訪問リハ、ケアマネ等)については処遇改善加算に準ずる要件を満たす(又は見込み)事業者が対象。
- (※2) 処遇改善加算の取得に加え、以下の要件を満たす事業者。
ア) 訪問、通所サービス等
→ ケアブランドデータ連携システムに加入(又は見込み)等。
イ) 施設、居住サービス、多機能サービス、短期入所サービス等
→ 生産性向上加算Ⅰ又はⅡを取得(又は見込み)等。
- (※3) 処遇改善加算を取得の上、職場環境等要件の更なる充足等に向けて、職場環境改善を計画し実施する事業者(要件は、令和6年度補正予算の「介護人材確保・職場環境改善等事業」と同様)。

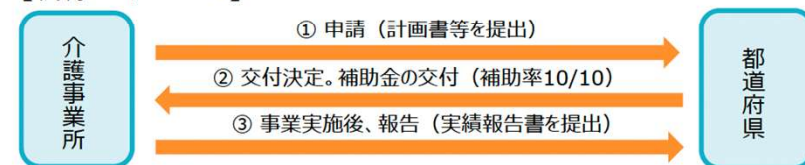
④ 施策のスキーム図、実施要件(対象、補助率等)等

(1) 支給要件・金額

- ①介護従事者に対する幅広い賃上げ支援 1.0万円
- ②協働化等に取り組む事業者の介護職員に対する上乗せ 0.5万円
- ③介護職員の職場環境改善の支援
※人件費に充てた場合、介護職員に対する0.4万円の賃上げに相当

(2) 対象期間: 令和7年12月～令和8年5月の賃上げ相当額を支給

【執行のイメージ】



(注) サービスごとに交付率を設定し、各事業所の総報酬にその交付率を乗じた額を支給(国10/10で都道府県に支給。併せて交付額算出のための国保連システム改修費用及び国・都道府県の必要な事務費等も確保)

⑤ 成果イメージ(経済効果、雇用の下支え・創出効果、波及プロセスを含む)

- 〇 介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援を実施することで、介護サービス提供に必要な人材確保につながる。

7

情報提供 - ケアプー導入で介護テクノロジー導入補助!

令和7年度当初予算額 地域医療介護総合確保基金（介護従事者確保分）97億円の内数（97億円の内数）※（）内は前年度当初予算額

1 事業の目的

- 介護人材の確保が喫緊の課題とされる中で、介護ロボットやICT等のテクノロジーを活用し、業務の改善や効率化等を進めることにより、職員の業務負担軽減を図るとともに、生み出した時間を直接的な介護ケアの業務に充て、介護サービスの質の向上にも繋げていく介護現場の生産性向上を一層推進していく必要がある。
- 職場環境の改善等に取り組む介護事業者がテクノロジーを導入する際の経費を補助し、生産性向上による働きやすい職場環境の実現を推進する。

※下線部は令和7年度までの拡充分。太字は更に今回変更する部分。

2 補助対象

- 【介護ロボット】
- 「**介護テクノロジー利用**における重点分野」（令和7年度より改定）に該当する介護ロボット（カタログ方式を導入）
- 【ICT】
- 介護ソフト、タブレット端末、インカム、クラウドサービス 業務効率化に資するバックオフィスソフト（転記等の業務が発生しないことの環境が実現できている場合に限る）等
- 【パッケージ型導入】
- 見守り機器等の複数のテクノロジーを連動することで導入する場合に必要な経費
- 【その他】
- 第三者による業務改善支援等にかかる経費
- ※**養護老人ホーム等を対象に追加**

3 補助要件等

介護ロボットのパッケージ導入モデル、ガイドライン等を参考に、課題を抽出し、生産性向上に資する業務改善計画を提出の上、一定の期間、効果を確認できるまで報告すること

第三者による業務改善支援又は研修・相談等による支援を受けること

（入所・泊まり・居住系）利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討するための委員会を設置すること

（在宅系）令和7年度内にケアプランデータ連携システムの利用を開始すること

【介護ロボット】		【ICT】		【パッケージ型導入】		
区分	補助額	補助台数	補助額	補助台数	補助額	補助台数
○移乗支援 ○入浴支援	上限100万円	必要台数	● 1～10人 100万円 ● 11～20人 150万円 ● 21～30人 200万円 ● 31人～ 250万円 ※職員数により変動しない場合は一律250万円	必要台数	上限400～ 1,000万円	必要台数
○上記以外	上限30万円					

補助率 以下の要件を満たす場合は3/4を下限（これ以外の場合は1/2を下限）

共通要件	・職場環境の改善を図り、収支が改善がされた場合、職員賃金への還元することを導入効果報告に明記 ・ 第三者による業務改善支援を受けること
介護ロボット	・見守り、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用すること（入所・泊まり・居住系に限る） ・従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うこと ・利用者のケアの質の維持・向上や職員の負担軽減に資する取組を行うことを予定していること
ICT	・ （在宅系）・ケアプランデータ連携システムを利用し、かつデータ連携を行う相手となる事業所が決定していること （それ以外）以下のいずれか ・LIFE にデータを提供している又は提供を予定していること ・文書量半減を実現させる導入計画となっていること
パッケージ型導入	・介護ロボット・ICTの要件をいずれも満たすこと。ただし、ICT（それ以外）に記載の要件は全て満たすこと

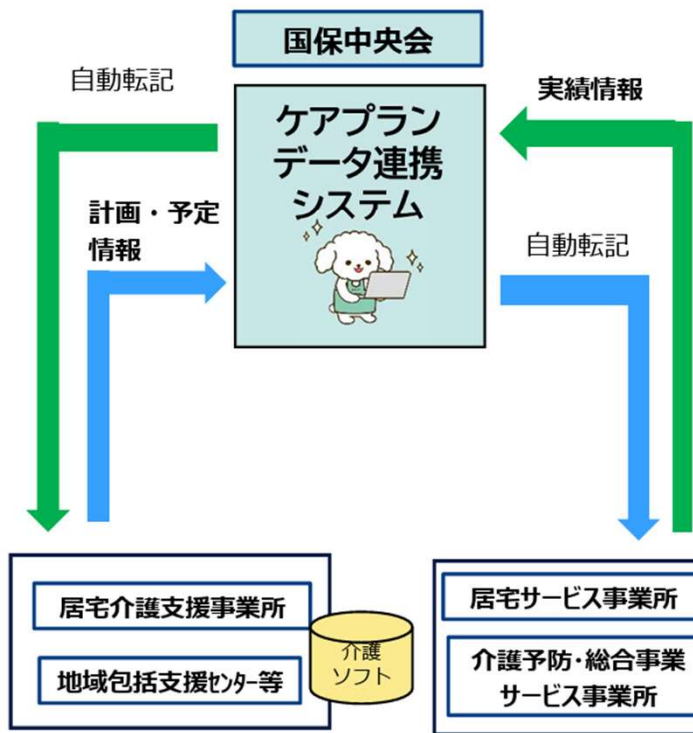
4 実施主体、実績

事業	R1	R2	R3	R4
介護ロボット導入支援事業（※1）	1,813	2,297	2,720	2,930
ICT導入支援事業（※2）	195	2,560	5,371	5,075

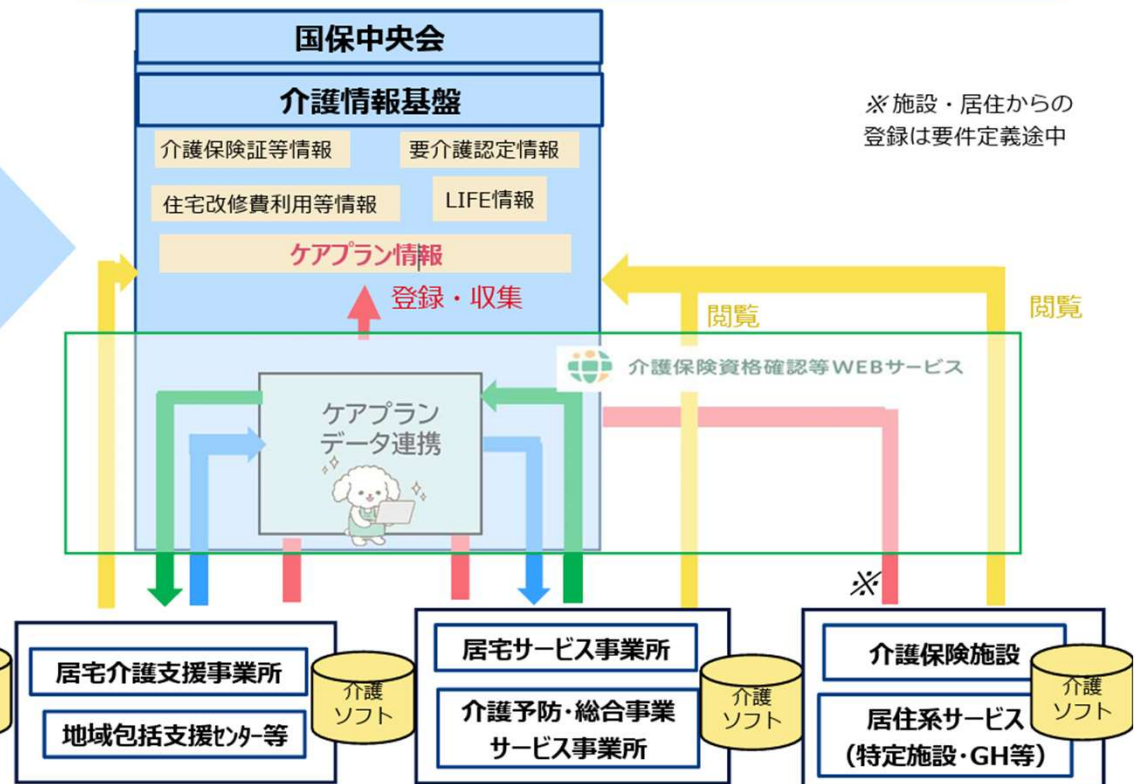


介護情報基盤とケアプランデータ連携機能の統合されることに

既存のケアプランデータ連携システム



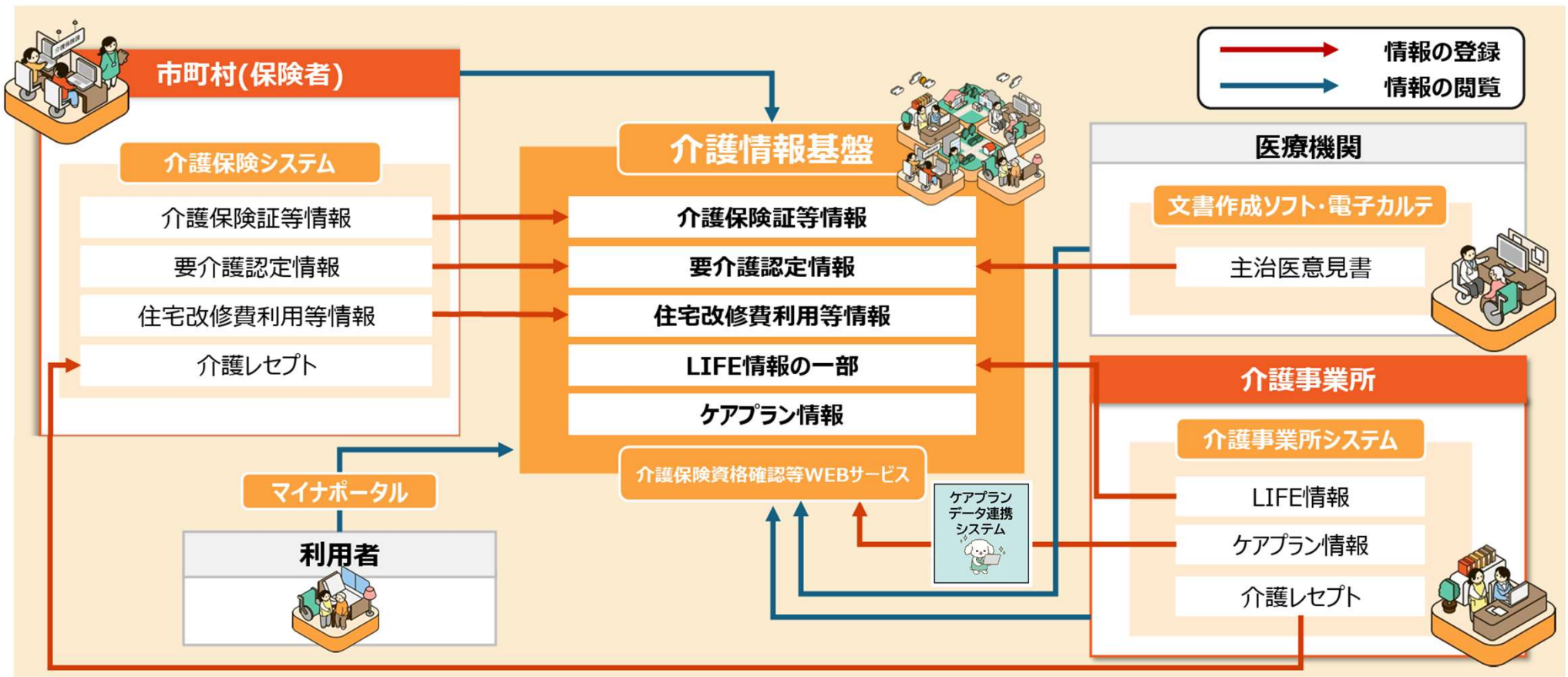
介護情報基盤とケアプランデータ連携機能を統合する場合



介護情報基盤によって、事業所、自治体・国に新たなメリットが生まれる

介護情報基盤とは

これまでバラバラに管理されていた行政・介護・医療の情報を一つにつなぎ
関係者が必要な情報を、必要なタイミングで活用できる状態をつくるための仕組み



介護情報基盤ポータルサイト <https://www.kaigo-kiban-portal.jp/>

介護情報基盤の3つのメリット

介護事業所が実現できる価値

① いつでも情報を確認



介護事業所職員やケアマネジャーが、要介護認定に必要な情報や、ケアプラン作成に必要な情報などをタイムリーに確認できます。

② やりとりの負担を軽減



給付に必要な情報をデジタル上で確認できるため、利用者・家族に情報を探していただく依頼をしたり、市町村へ問い合わせいただいたりする負担が減ることが期待できます。

③ 質の高いケア



介護に関する情報収集が効率化されることで、本来的な業務に集中できるようになり、介護を受ける人にさらに寄り添ったサービスを提供できます。

市町村(保険者)が実現できる価値

① 業務の軽減



手間のかかる郵送・印刷などの紙に関する業務や、窓口のやり取りを減らすことができます。

② サポートの最適化



介護・医療現場が自ら情報を確認できるようになるため、問い合わせが減ります。

③ 施策への活用



将来的に、ケアプランやLIFE情報の一部などの情報を共有することにより、地域全体の傾向や状況を深く知ることができ、その情報をふまえた施策立案がしやすくなります。

情報提供 - フリーパスキャンペーン「延長！」



フリーパスキャンペーンとは、ケアプランデータ連携システムすべての機能を1年間無料でご利用できる期間限定のキャンペーンです。「導入コストが気になる」「周りの事業所を誘いたいけれど、きっかけがない」。そのようなお声にお応えし、業務改善の第一歩を、負担ゼロで気軽に始められるキャンペーンとなっています。

キャンペーン申請期間

2025年6月1日～2026年5月31日（予定）

無料でご利用いただける期間は、申請いただいた日から1年間です。

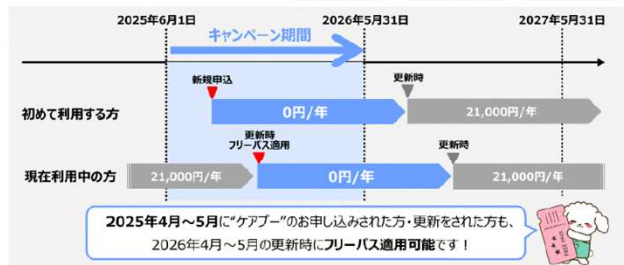
ライセンス料

通常 21,000円/年 → **0円/年**

対象となる事業所

すべての介護事業所が対象です

初めて利用する方 □ 現在利用中の方 □ 一度ご利用をやめた方 □



詳しくは、サポートサイト内 特設ページよりご覧ください

※特設ページは、3月14日(金)より公開

<https://www.careplan-renkei-support.jp>

ケアプラン ヘルプデスク

検索

フリーパスキャンペーンに係るご質問・お問合せ先

ケアプランデータ連携システム ヘルプデスクサポートサイト
TEL 0120-584-706 受付時間 9:00～17:00（土日祝日除く）
サポートサイト内にて、メッセージフォームからも受け付けています。

- 1年間フリーパスの配布期間
2025年6月1日～2026年5月31日
- 対象となる事業所
全ての介護事業所
(初めて、利用中、再利用)
- 利用可能な機能
全ての機能

フリーパス
キャンペーン延長！



フリーパスキャンペーン特設サイト

<https://www.careplan-renkei-support.jp/freepass/index.html>

**令和7年度岩手県
ケアプランデータ連携システム活用促進モデル地域づくり事業**

ケアプランデータ連携システム活用促進モデル地域づくり事業の支援内容

研修会の実施

- ・ ケアプランデータ連携システム概要
メリット、使い方についての研修会
- ・ 本事業の説明
- ・ デモ体験会



導入支援 プログラムの提供

- ・ オンラインによる実践研修会（全4回）



モデル事業所での 効果検証 **本日**

成果報告会 **本日**

- ・ 研修会は11～12月にオンライン（zoom）で開催
- ・ 当日どうしても参加できない人のために、**アーカイブ配信を実施**
- ・ 現場の負荷を考慮し、**準備・インストール・送受信など細いステップで実施**

- ・ 『ケアプランデータ連携システム実践ガイド』（絶対迷わない）の配布



デモ体験会



- ・ それぞれの事業所での導入・運用支援
- ・ 個別サポート実施
 - ・ メール：お問い合わせフォーム
 - ・ 電話：コールセンター

パソコン操作に不安がある方でも安心して
実施できる実践ガイドを配布します♪

このガイドの特徴

- 実際の画面を見ながら進められるので安心です
- 1つの操作につき1枚のスライドだから、流れがわかりやすいです
- ガイドを紙芝居のようにめくりながら、1つずつ確認して進められます
- 注意が必要なポイントもしっかり書いてあるので、迷わず操作できます

メールでの対応：

- ・ パソコンやスマートフォンから特設サイトの質問フォームへ入力してください
- ・ 下記のリンク及びQRコードからアクセスしてください
- ・ 3営業日以内には回答いたします

URL： https://www.motion.co/trape/2neef4288a708032b3a5e115652503a187a?source=copy_link

電話での対応：

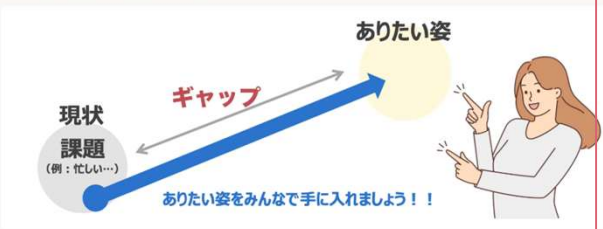
- 050-1724-3070 へお電話ください（平日9:00-17:00）
- お急ぎの場合や直接話したい方はこちらをご利用ください
- サポート担当がご対応させていただきます
- ご相談内容によっては、担当から折り返しのご連絡を差し上げることもあります

いつでも振り返りができる「特設ページ」

ケアプランデータ連携システムを活用する目的

▶ 地域包括支援センター・居宅介護事業所・居宅サービス事業所・介護予防・総合事業サービスにとっての「ありがたい姿」を手にいれること！

- ケアプランデータ連携システムを使う目的は、現状とありがたい姿のギャップを縮め、介護現場の業務負担を軽減しつつサービスの質を高め、地域包括ケアシステムを推進することです
- ケアプランデータ連携システムを使うことは、ギャップを縮める目的を実現するための手段といえます



▶ システム導入済みおよび導入予定の事業所一覧

▶ ケアプランデータ連携システムの特徴・効果など

▶ 事業説明会

▶ 実践研修会

▶ Q & A (随時更新)

お問い合わせフォーム

- お問い合わせフォーム： <https://forms.gle/PB8eDnkvZQuYcgr89>

☎ コールセンター：050-1724-3070

【対応時間】平日 9:00~17:00※時間外は留守番電話での対応となります。

【奥州市】岩手県ケアプランデータ連携システム活用促進モデル地域づくり事業 特設ページ



サービス種別	事業所名	導入状況
居宅介護支援	あつふるホーム指定居宅介護支援事業所	導入済み
居宅介護支援	サポートセンターNPOえさし指定居宅介護支援事業所	導入済み
居宅介護支援	ぬくもりの居宅介護支援事業所	導入済み
居宅介護支援	やまゆり荘居宅介護支援事業所	導入済み
居宅介護支援	羽衣荘指定居宅介護支援事業所	導入済み
居宅介護支援	株式会社ケアネット岩手サービスセンター	導入済み
居宅介護支援	江寿園指定居宅介護支援事業所	導入済み
居宅介護支援	在宅総合ケアセンター美希・アザレア	導入済み
居宅介護支援	桜つつみ指定居宅介護支援事業所	導入済み
居宅介護支援	寿水会指定居宅介護支援事業所	導入済み
居宅介護支援	清和会指定居宅介護支援事業所	導入済み
居宅介護支援	聖愛園指定居宅介護支援事業所	導入済み
居宅介護支援	福寿荘指定居宅介護支援事業所	導入済み
居宅介護支援	福伸指定居宅介護支援事業所	導入済み
居宅介護支援	居宅介護支援事業所あおぞら	導入予定
居宅介護支援	美楽会居宅介護支援事業所	
介護予防支援	地域包括支援センターえさし中央	
介護予防支援	地域包括支援センターこころもがわ	
訪問介護	どんぐりヘルパー	

最新情報をチェック！

実践研修会

▼ 第1回：11月27日（木）13:00-15:00

▼ 内容

▼ 資料・アーカイブ動画

▼ 当日資料

☞ 岩手県_ケアプランデータ連携システム実践ガイド_準備・導入編.pdf 30.3 MB

▼ 当日動画

• 実践ガイド_準備・導入編【A】利用開始前の確認事項



▼ Q & A (随時更新)

ケアプランデータ連携システム...

▼ インストール・準備編 ... +

質問

アプリを起動し、KJから始まるIDとパスワードを入力したところ、パスワードの有効期限が切れていると表示されます。

システムを利用するにあたり、必要なパソコンの条件はありますか？

システムを利用しようとしているPCに、請求業務を委託している先の電子証明書がすでにインストールされていますが、同じPCで併用できますか？

同法人に複数の事業所がある場合（事業所番号がそれぞれ異なる場合）のシステム使用料はどうなりますか？

同一事業所番号で、居宅、訪問、通所など複数の事業所があります。1台のPCですべて送受信できますか？

+

▼ 料金・更新編

質問

利用開始から1年後に必ず更新しないといけないですか？

返答

返(パスワードを入力しているシステムでパスワードを変更)

返(Windows11以上であること)

返(併用できます(1台のPCに複数の電子証明書をインストールすることが可能です)。委託請求の電子証明書ではケアプランデータ連携システムは使用できないため、電子請求受付システムからKJから始まるユーザーIDで電子証明書を発行し、パソコンにインストールしてください。)

返(事業所番号がそれぞれ異なる場合、1事業所番号ごとに1ライセンスを取得いただく必要があります。(事業所番号が同じ場合は、ライセンスはひとつで利用可能です)

返(はい、1台のPCでの運用が可能です。)

+

+

+

+

+

+

+

+

+

+

+

+

+

+

+

後追い可能！
いつでもスタート可能！
自分たちのタイミングで実施可能！

誰かの疑問は誰かの参考になる！

ケアプー導入に向けて行ったその他のアクション

TRAPEからのさらなるアプローチ

■ 追加研修2回、盛岡市で研修1回

- 導入から活用までを丁寧に解説した研修会を2回追加で実施
(参加者数：合計120名以上)
- 盛岡市の地域包括支援センターからケアマネ向け研修会実施の依頼があり
緊急開催で研修会を実施（参加者数：37）

■ 事業所への電話 1/21～

- モデル事業所の取引先事業所のうち、ケアプーをまだ導入していない事業所に対して
架電を行い、導入状況および今後の導入意向について確認を実施した
- 導入の意向が確認できた事業所には実践ガイドを送付し、メールや電話にて導入のフォロー

緊急開催 みんなで使えば、みんながラクに！
ケアプランデータ連携システム活用
勉強会を開催致します

徹底的なサポート体制があるのは今だけ！

- 誰にでもわかりやすく説明した資料が手に入ります
- 研修会で導入から活用まで丁寧に解説します
- 一人で悩まず、困った時は気軽に相談できます
- 今なら無料で利用できます

日時 令和7年12月24日（水） 10：00～12：00
場所 ケア・テック 2階研修室（住所：盛岡市滝沢16-15-8）
定員 50名程度
講師 株式会社TRAPE
内容 ・ケアプランデータ連携システムの説明
・Q&A
・【調整中】ケアプランデータ連携システムのデモ体験

問い合わせ先
盛岡・赤井地域包括支援センター
TEL 019-656-7710
協力：株式会社TRAPE
社会福祉法人盛州いさわ会

申込URL <https://forms.gle/5SuvoGIB9ferdG119>
QRコード

ケアプランのやりとりを、紙からデジタルへ。
つながろう、もっと。広めよう、仲間と。

<電話で把握したケアプーを導入していない理由>

導入していない理由	件数
法人の許可が必要	12
困っていない、今後も考えない	2
導入するための余裕がない	2
金銭面の負担がネック	1
詳しく知らなかった	2

いさわ会・モデル事業所から行ったアプローチ

法人の許可が得られない事業所に対しては
法人経営層に向けた情報発信やコミュニケーションが重要
→経営協などでの情報発信（セミナー等の実施も有効）
※ 経営層が導入を決定しない限り、現場が必要を感じていても導入・活用ができないため

相手の状況を丁寧に把握したうえで導入を改めて呼びかけ
フォロー体制もあわせて示しながら、導入促進につながるコミュニケーションを実施した

モデル事業所での効果検証

- モデル事業所を選定し、タイムスタディやアンケートなどを行い、ケアプランデータ連携システムを導入することで業務内容がどのように変化したか効果検証を実施しました
- ※ こちらのタイムスタディは、モデル事業所以外の方もご使用いただけます（事業所版があります）

生産性向上くん[®]



タイムスタディ登録画面

はじめましょう！



- ✔ スマホでタップするだけでタイムスタディを実施できる
- ✔ 入力結果は瞬時に自動集計・見える化
- ✔ サービス事業所用のタイムスタディも完備



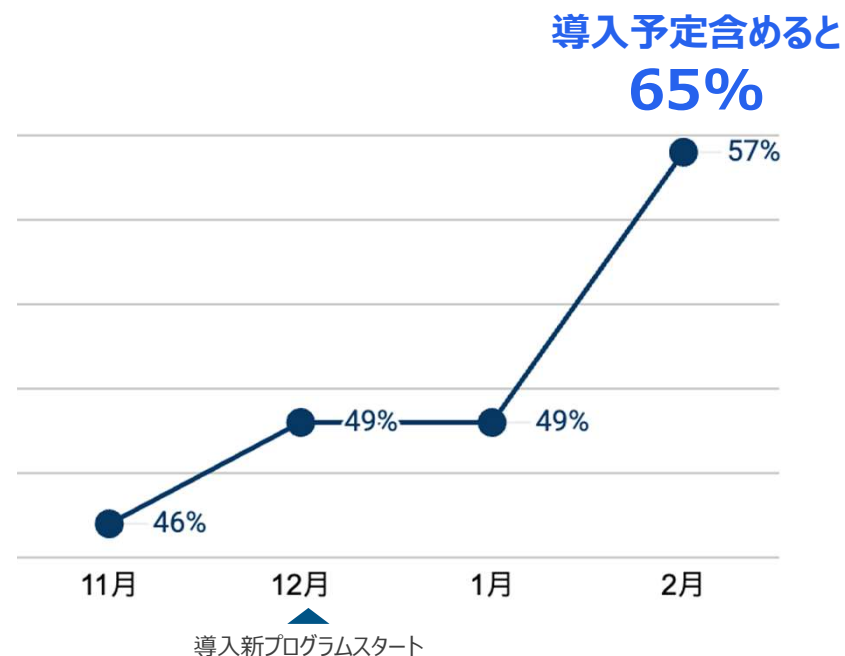
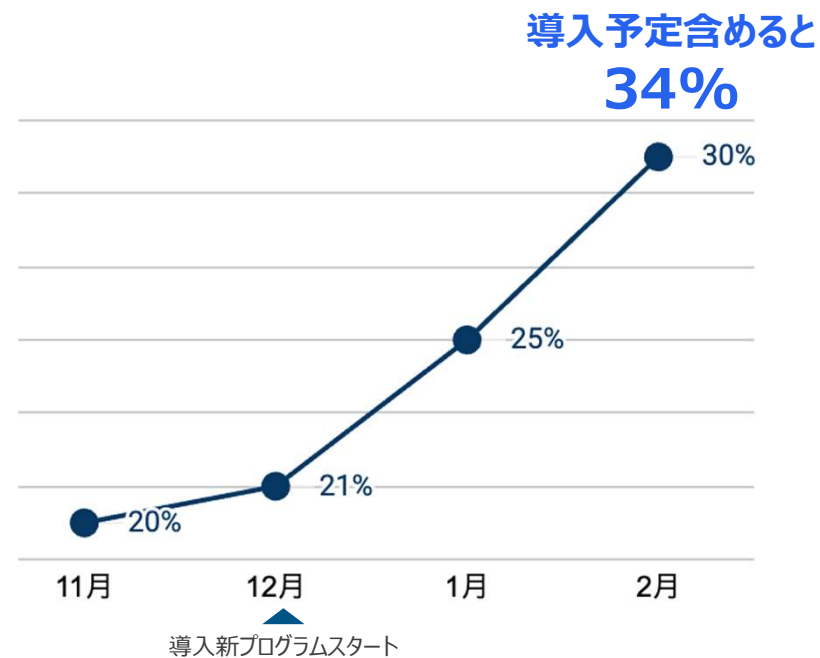
ケアプー導入率の推移

奥州市	年度	R7	R7	R8	R8
	月	11月	12月	1月	2月
	導入率	19.8%	20.6%	24.7%	29.6%

- 導入予定事業所 4%
- 導入未定事業所 66%

モデル事業所取引先	年度	R7	R7	R8	R8
	月	11月	12月	1月	2月
	導入率	45.9%	48.6%	48.6%	56.8%

- 導入予定事業所 8%
- 導入未定事業所 35%



ケアプー導入に向けて行ったその他のアクション

いさわ会・モデル事業所から行ったのアプローチ

地道な声掛けを通じて、「ケアプーを導入してみようかな」と思ってもらうための“種まき”を徹底的に実施した

■ 事業所の玄関にケアプーのポスターを掲示し、来訪者への声かけ

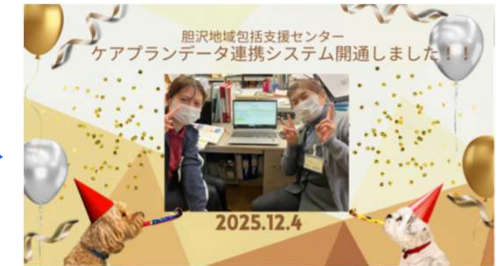
ケアマネジャーが来訪した際に、「ケアプーと一緒にやりませんか？」と地道な声かけを繰り返し行った

■ 市内の包括、居宅、サービス事業所に電話

事業所で直接声かけができなかったケアマネジャー、包括、サービス事業所に対しては電話により以下のようなコミュニケーションを行った

- 「**ケアプーを始めたので一緒にやりませんか？**」
- 「研修会を行うので参加しませんか？」
- 「特設サイトもあるので、導入する時にぜひ活用してください！」

ケアプー導入を記念して写真を撮り
関係事業所に周知することで機運の醸成を図った



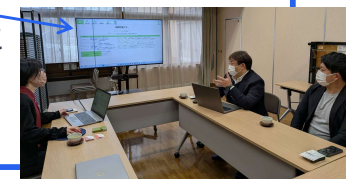
■ 経営協での発信

- ケアプー導入が処遇改善につながることを知らない事業所もあったため「このままでは5,000円を受け取れない職員が出てしまう」といった実情を伝えた
- その結果、導入方法を知りたいという声上がり、実践研修会のチラシを渡し、周囲への周知も依頼した



地道な声掛けによる成果—「種まき」から「実り」へ

- 包括、居宅、サービス事業所から「**ケアプーの話聞かせて**」「**実際に見学させてほしい**」という声が出るようになった
- 12月実践研修会(約20名)と2月の追加研修会(約60名)を比較して、**研修会の参加者は3倍**になった
- 電話での働きかけを重ねる中で、「**導入しますね**」という**導入に前向きな反応が増加**してきている



玄関のケアプーポスターの写真

ケアプーの普及のために活用したさまざまなチラシ

令和7年度 若手介護ケアプランデータ連携による活用促進モデル地域づくり事業

ケアプランデータ連携システム活用促進モデル事業説明会を開催します

導入するなら今がチャンス！

令和7年 11月20日(木) 13:30-15:30

徹底的なサポート体制があるのは今だけ！

- 誰にでもわかりやすく説明した資料が手に入ります
- 研修会で導入から活用まで丁寧に解説します
- 一人で悩まず、困った時は気軽に相談できます
- 今なら無料で利用できます

みんなで使えば、みんながラクに！

事業説明会

日時 令和7年 11月20日(木) 13:30-15:30
場所 プラザイン水沢
〒023-0003 岩手県奥州市水沢倉倉河後田29
定員 100人 (※定員を超すとのお申込みがあった場合は、奥州市内の事業所様を優先させていただきます)
講師 株式会社TRAPE代表取締役 鎌田 大智
原注労働者「若手介護ケアプランデータ連携システム」の仕組みに深く関わり、介護現場の生産性を高め、介護スタッフの負担を軽減し、高齢者の生活の質を向上させる。ケアプランデータ連携システム導入の意義を説明し、活用方法や導入のメリットについて、質疑応答を実施する。ケアプランデータ連携システム導入の意義を説明し、活用方法や導入のメリットについて、質疑応答を実施する。

内容 • ケアプランデータ連携システムの説明
• モデル事業所説明、Q&A
• ケアプランデータ連携システムのデモ体験

お問い合わせ先 社会福祉法人奥州いさわ会特別養護老人ホーム ぬくもりの家 事務局長 小原 守
TEL: 0197-46-5100
事業協力: 株式会社TRAPE

こちらのQRコードよりお申し込みください
申込URL <https://forms.gle/dzRTYnq1EVQ6Fz8>

事業説明会周知

岩手県と奥州市も強力に導入推進中！

ケアプランデータ連携システム一緒にはじめませんか？

書類のやりとりにかかっている時間を短縮して…
本当にやりたいことに使える余力を生みだし、やりたい事を目標せよ！

ケアプランデータ連携システム導入のための実践研修会を実施します！

開催日時
①11/27(火) インストール編
②12/18(水) ログイン・送受信編
13:30~15:00(両日)

オンライン研修可能な会のみ参加もOK！
お申込はこちら

① 今なら「無料」ではじめられます！
年間21000円の使用料が、今なら1年間無料になるフリーパスキャンペーンを実施中です！

② 手厚い導入サポートを受けられます！
事前準備と送受信の施行に分けてお伝えする実践研修会、研修会のアーカイブ配信、個別の伴走支援など、手厚いサポートを受けられます！

特設研修サイトはこちらからアクセス！

令和7年度若手介護ケアプランデータ連携による活用促進モデル地域づくり事業
モデル地域: 奥州市
事業協力: 株式会社TRAPE

お問い合わせ先 社会福祉法人奥州いさわ会特別養護老人ホーム ぬくもりの家 事務局長 小原 守
TEL: 0197-46-5100

実践研修会

岩手県、奥州市も強力に導入推進中！
今からでも間に合う！

ケアプランデータ連携システム一緒にはじめませんか？

書類のやりとりにかかっている時間を短縮して…
本当にやりたいことに使える余力を生みだし、やりたい事を目標せよ！

ケアプランデータ連携システム導入のための

①ミニ説明会+導入編
②電子証明書+送受信編を追加で実施！

開催日時
①ミニ事業説明会+導入編 2/13(金) 17:00~18:00
•ケアプランデータ連携システムについての説明
•導入のための事業所導入方法について
お申込はこちら
②電子証明書+送受信編 2/20(金) 16:00~17:00
•導入が一番難しい電子証明書を詳しく解説
•送受信方法を丁寧に解説
申込締切 2/19(木)

① 今なら「無料」ではじめられます！
年間21000円の使用料が今なら1年間無料になるフリーパスキャンペーンを実施中です！

② 手厚い導入サポートを受けられます！
研修会で活用方法をご案内しており、資料やアーカイブ動画を特設サイトで見ることが出来ます。また、コールセンターではシステムの導入から活用まで手厚いサポートを受けられます！

特設研修サイトはこちらからアクセス！

令和7年度若手介護ケアプランデータ連携による活用促進モデル地域づくり事業
モデル地域: 奥州市
事業協力: 株式会社TRAPE

お問い合わせ先 社会福祉法人奥州いさわ会特別養護老人ホーム ぬくもりの家 事務局長 小原 守
TEL: 0197-46-5100

追加セミナー

岩手県と奥州市も強力に導入推進中！

ケアプランデータ連携システム私たちは導入しています！

書類のやりとりにかかっている時間を短縮して…
本当にやりたいことに使える余力を生みだし、やりたい事を目標せよ！

ケアプランデータ連携システムは、包括、居宅、在宅サービス事業所等の多くの事業所へ導入・活用することで始めて大きなメリットを生み出します！

ケアプランデータ連携システムの導入は今がチャンスです！一緒にはじめませんか？

① 今なら「無料」ではじめられます！
年間21000円の使用料が、今なら1年間無料になるフリーパスキャンペーンを実施中です！

② 手厚い導入サポートを受けられます！
事前準備と送受信の施行に分けてお伝えする実践研修会、研修会のアーカイブ配信、個別の伴走支援など、手厚いサポートを受けられます！

特設研修サイトはこちらからアクセス！

令和7年度若手介護ケアプランデータ連携による活用促進モデル地域づくり事業
モデル地域: 奥州市
事業協力: 株式会社TRAPE

お問い合わせ先 社会福祉法人奥州いさわ会特別養護老人ホーム ぬくもりの家 事務局長 小原 守
TEL: 0197-46-5100

導入呼びかけ

ケアプー導入に向けた取組みを通して感じたこと

■ 一人のケアマネジャーの声が教えてくれた、ケアプーの本当の価値

委託先のケアマネジャーが、紙1枚の請求書を届けるために、毎回20分かけて来訪してくれていた。

これまでは当たり前の光景だったが

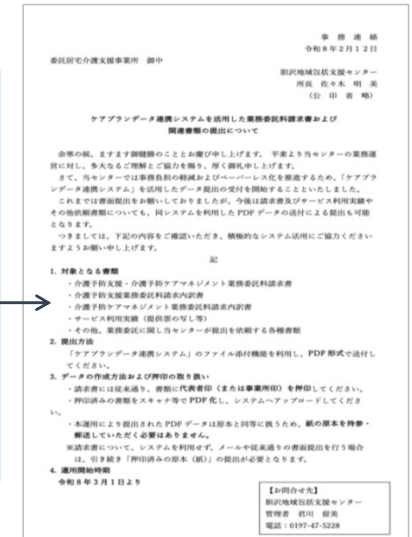
「この書類、何とかありませんかね」という一言をきっかけに、たった紙1枚のために毎月往復40分もの負担をかけていたことに気づかされた。

これはまさに、ケアプーを活用できる場面だと感じた。

そこで奥州市に確認したところ、押印はスキャンしたもので問題ないことが分かり、原本ではなくスキャンしてPDF化したデータを **ケアプーでやり取りする方法** を関係事業所に提案した。

あわせて、これまで書面で提出をお願いしていた請求書やサービス利用実績、その他の依頼書類についても、今後はケアプーを活用し、PDFデータでの提出で問題ないことを、地域や事業所に向けて紙媒体でも周知し、地域全体での活用を呼びかけた。

その結果、この事業所およびケアマネジャーはケアプーを導入してくださった。



このようにケアプーは

現場のマネジャーが「本当は少し大変だ」と感じていた日常の負担を解消できる有効な手段である。

だからこそ

この取組みを多くの地域の居宅・包括サービス事業者の皆さんに伝え、ぜひ一緒に活用していきたいと、改めて強く感じた。

ケアプー導入に向けた取組みを通して感じたこと

今回の3か月という短い期間での取組みの中で大切だと強く感じたポイント

- **経営層がケアプーに関する正確な情報をしっかりと把握することの重要性**
これがなければ、そもそも取組みは始まらない
一方で、情報がきちんと伝われば、経営層自らが導入に向けて主体的に動いてくださることも分かった
- **経営層が導入を決定しても、実際に使うのは現場の職員**
初めて使う仕組みである以上、不安や戸惑いがあるのは当然であり、「どう使えばいいかわからない」という声上がるのも自然なことなので、だからこそ、**実際の使い方を伝えるセミナーや実践ガイド、困ったときに支援してくれるコールセンター**といった伴走的な支援体制の重要性を強く感じた
- **在宅の現場では、地域のつながりの中で日々業務が回っており、その中に「当たり前になってしまっている負担」が非常に多く存在している**ということを感じた
本当は「何とかならないかな」と感じていることや、「これが解消できたら、もっとこうしたい」と思っていることが、現場には数多くあるその中心には、常に利用者さんの存在がある
- 在宅サービスにおける地域連携とは、事業所同士が利用者のためにどう協力し、課題を乗り越え、つながっていくかという視点が欠かせない。この視点を共有することこそが、地域連携の土台になる
その実現に向けて、**地域の中で課題を共有し、「どうしたらいいか」をみんなで考え、みんなで実行していくことが重要**でこれらを**実際に可能にする有効な手段**が、情報共有ツールである**ケアプランデータ連携システム（ケアプー）**であるということ強く実感した
- ケアプーを「導入する」だけで終わらせず、「活用」につなげていくためには
地域全体で「何とかならないか」と考え、「ではどうするか」を実行していくプロセスそのものが欠かせないと感じた
今回行ったような **継続的な声かけや働きかけ** を大切にしながら、事業所同士が協力し合い、つながりを育てていくこうした **“地域づくりの取組み”**こそが、ケアプー活用を定着させる最大の鍵であると実感した

**No Role
No Life**